

令和4年度第3回 松川町ゆうきの里を育てよう連絡協議会 議事録

1. 開会・進行

田中課長

2. 挨拶

宮下智博町長（協議会会長）

3. 報告 説明：宮島

- (1) それぞれの会での進捗状況について
- (2) 九州視察研修について

4. 協議事項

- (1) 有機農業推進5か年計画について 説明：宮島
◎オーガニックビレッジ宣言は令和5年4月（今年中に5か年計画をたてる）

農業農村支援センター 木下 今、水稻栽培で裾野を広げていきたいとのことで町内の人にも声をかけていきたいとのことだが、他の作物の経営シートのような、有機の場合もどのくらいの収入が見込めるか分かるものを作ったほうが皆取り組みやすいのではないかと。その組み立てをここ2,3年くらいのうちにやったらどうか。

ゆうき給食とどけ隊会長 久保田 「有機農業をはじめよう」というサイトがあり、作物別に経営指標が見れるものがあるので参考になるのでは。

農業委員会 松本 有機農業に取り組むのはいいが、“耕作者がなかなかいない”とのこと。その原因は。

事務局 お米に関しては除草ではないか。

町長 今やっている人達を取り込むには、今ある技術も使ってよいという入り口、全てを捨てて変えるにはハードルが高い。その辺は研究すべき。

5. 各団体から報告、提案について

<近況報告>

農業委員（楽しみまし農） 北沢 ジャガイモを収穫したところにはソルゴーを育てて耕している。ジャガイモと玉ねぎ、収穫祭用の落花生と枝豆を3パターンをぐるぐる回していけるような上手なやり方について学びたい。

ゆうき給食とどけ隊会長 久保田 もなりんとも相談をして、とどけ隊の活動の取り組みの啓発ということで、店先出店を計画している。ブルーバールンという企業（有機農業で土壌に炭素を貯めるのを数値化して、カーボンを出さないことへの他の企業からの出資で有機農業への投資・マッチングする）が、土壌を測らせてほしいとのことで、環境保全の取り組みとしてみてもらえるのは魅力。

学校栄養士中央小 木下 とどけ隊の方が学校に来て栽培指導をしていただいた。「いただきます」のDVDを見て、また少し興味が出てきた。6年生は味噌づくり。

九州視察で菌ちゃん先生より煮干しや塩の話聞いてきたので、急には難しいが塩

を 1 回変えてみるのも手かと思う。ただ効果が出ているのかぱっと見では分からないので数値化できれば。旨味は変わるので、食べた感想は変わるのかなど。1 ヶ月くらいやってみたい。いくつか取材も来ているので、これをきっかけに松川町でこういう取り組みをやっていることが知られていけば、給食が発信源になって生産者が増えていけばいいなと思う。

<その他>

農業農村支援センター 木下 有機への取り組みだが、阿智や飯田でも取り組んでいるが、飯伊の中でも取り組んでいる人が集まって意見交換をしたり、取り組みを紹介していることを、他市町村の職員を呼んで意見交換するのも PR になるからいいのでは。

町長 行政や、農業関係団体を呼んで報告会・意見交換会を開催するのがいいのではないか。ゆうき給食とどけ隊副会長 牛久保 直売所が出している月刊誌に、松川町のゆうき給食とどけ隊の活動や学校給食の現場を取材されたのが今度掲載される。外部から PR してもらえるのはいいことかなど。ますます頑張らなくては。

商工会代表 小沢 国からの補助金はどうか。生産者が経済的に成り立たないでは困る。ゆうき給食とどけ隊副会長 牛久保 清流苑の売店でも町内、地元の物を取り入れてもらいたい。

学校栄養士北小 本多 今年度は 3.4 年生は環境調査に参加させてもらった。毎日給食の時も「今日とはどけ隊の〇〇さんの△△を使っています」と掲示しているため有機野菜は当たり前前に食べているという考え。なぜ有機野菜なのか。有機野菜を食べると自分の体がどうなっていくのか。ということまでは分かっていないので、今度の講演会を通じて“子が「有機野菜はこうなんだよ」と親に伝える→親は「そうなんだ、じゃあ買ってみようか」”につながっていけば。

6. 閉会挨拶

松下敏章農業委員長（協議会副会長）